



●読書で身に付く“3つの力” 理解力・想像力・表現力

村立図書館開館30周年・村発足60周年記念 鈴木光司さん講演会

11月7日、東海文化センターで、代表作の『リング』や『らせん』などで知られる作家・鈴木光司さんによる講演会「なぜ勉強するのか～読書のススメ～」が行われました。一冊の本・恩師との出会いによって、本格的に作家を目指そうと思った小学生時代、結婚後、作家を目指しながら子育てをする中で身に付いたこと、2人の娘とのコミュニケーションの中で伝えてきたことなど、鈴木さんの経験談を通して、“本を読むことの大切さ”“勉強することの目的”など、大切なメッセージを伝えていました。夢を実現するために、何事にも前向きに努力する——そんなこれまでの歩みを語る鈴木さんからは、ポジティブなオーラがあふれ、来場者も元気ももらっていたようです。



講演会「なぜ勉強するのか～読書のススメ～」の様子。

●持続可能なまちづくりの実現へ!

「東海村第5次総合計画後期基本計画」が答申

村では現在、平成28年度から32年度までのまちづくりの方向性を定める「東海村第5次総合計画後期基本計画」の策定を進めています。この策定に当たって、一般公募の村民を含む16人で構成された東海村総合計画審議会に、基本的な方向性について諮問をしていたところですが、このほど答申がまとまり、11月20日、増子千勝委員長(茨城大学監事)から村長に答申書が手渡されました。約1年間に及ぶ審議の中では、5つの専門分野に分かれたワーキング部会での議論も踏まえながら、計8回に及ぶ審議が重ねられました。なお、総合計画審議会は今後も定期的



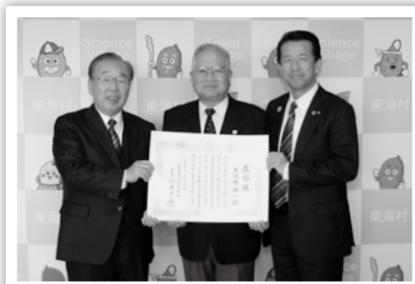
山田村長に答申書を手渡す増子委員長(写真右)

に開催され、総合計画の進捗状況について点検する役割を担います。

●地域自治の発展に貢献! 黒羽根さんに表彰状

平成27年度「全国自治会連合会会長表彰」

10月27日、石川県で行われた平成27年度「全国自治会連合会石川県金沢大会」において、前東海村自治会連合会会長の黒羽根弘一さん(真崎)が、「全国自治会連合会会長表彰」を受賞し、11月5日、村長へ報告に訪れました。これは、長年にわたり地域活動の推進と住民自治の振興・発展に寄与したことが認められたもので、黒羽根さんは、県内4受賞者のうちの1人。平成15年の区長(現自治会長)就任と同時に東海村区長会会長(現東海村自治会連合会会長)の職に就き、自治会制度等の導入に取り組むなど、住民自治の発展に大きく貢献した黒羽根さん。今後ますますのご活躍を期待しています。



【写真左から】根本龍哉さん(東海村自治会連合会会長)、黒羽根さん、山田村長

●防犯意識を高め、犯罪のない明るい社会に!

優良防犯連絡員表彰

10月8日、県民文化センターで開催された第37回「地域安全茨城県民大会」において、宇佐美壽一さん(村松北)と武藤高志さん(須和間)が、優良防犯連絡員として表彰され、11月27日、村長室で表彰状の伝達式が行われました。防犯連絡員は、地域住民と警察署との間を取り持つ大切な役割を担っており、今回の表彰は自主的な防犯パトロールの実施や、防犯キャンペーンなどへの積極的な参加が高く評価されたもの。私たちも防犯連絡員の皆さんとともに、日ごろから防犯意識を高め、犯罪被害のない明るい社会を目指しましょう。



【写真左から】舛井保男さん(防犯連絡員協議会東海中分会長)、山田村長、宇佐美さん、武藤さん、遠藤恵一さん(ひたちなか警察署長)

く評価されたもの。私たちも防犯連絡員の皆さんとともに、日ごろから防犯意識を高め、犯罪被害のない明るい社会を目指しましょう。